

精神神経科学

論文

A 欧文

A-a

1. Yoshikawa Y, Kobayashi H, Sakai N, Ishiguro H, Kumazaki H: Therapeutic potential of robots for people who stutter: a preliminary study. *Frontiers in psychiatry* 15: 1298626, 2024. doi: 10.3389/fpsy.2024.1298626.
2. Konishi S, Kuwata M, Matsumoto Y, Yoshikawa Y, Takata K, Haraguchi H, Kudo A, Ishiguro H, Kumazaki H: Self-administered questionnaires enhance emotion estimation of individuals with autism spectrum disorders in a robotic interview setting. *Frontiers in Psychiatry* 15: 2024. doi: 10.3389/fpsy.2024.1249000.
3. Yoshimura Y, Mitani Y, Ikeda T, Tanaka S, Suda M, Yaoi K, Hasegawa C, An K, Iwasaki S, Kumazaki H, Saito D, Ohta H, Ando A, Cho K, Kikuchi M, Wada T: Language and sensory characteristics are reflected in voice-evoked responses in low birth weight children. *Pediatric Research* : 2024. doi: 10.1038/s41390-024-03270-9.
4. Kanchi N, Kawata M, Yoshikawa Y, Baba A, Miyashita T, Ishiguro H, Kumazaki H: The potentiality of telepsychiatry using a teleoperated robot for a patient with alcohol abuse on an isolated island. *PCN reports : psychiatry and clinical neurosciences* 3(3): e230, 2024. doi: 10.1002/pcn5.230.
5. Kawahara H, Kanchi N, Kawata M, Yoshikawa Y, Baba J, Muramatsu T, Ishiguro H, Kumazaki H: Training potential of a teleoperated humanoid robot for use by a young psychiatrist during childcare leave. *Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports* : 2024. doi: 10.1002/pcn5.70008.
6. Imaizumi T, Lu L, Nishikawa N, Kumazaki H, Ueda K: Similarities in Face Recognition between Deep Learning and Autism Spectrum Disorders. *Proceedings of the 12th International Conference on Human-Agent Interaction* : 344-346, 2024. doi: 10.1145/3687272.3690876.
7. Ohmoto Y, Terada K, Shimizu H, Kawahara H, Iwanaga R, Kumazaki H: Machine learning's effectiveness in evaluating movement in one-legged standing test for predicting high autistic trait. *Frontiers in psychiatry* 15: 1464285, 2024. doi: 10.3389/fpsy.2024.1464285.
8. Kumazaki H: Cybernetic Avatar. : 2024. doi: 10.1007/978-981-97-3752-9.

B 邦文

B-b

1. 山本直毅, 森本芳郎, 今村 明, 熊崎博一: 高リスク、あるいは低リスクのギャンブル行動についての示唆的考察 長崎県の令和2年度調査を踏まえて. *精神神経学雑誌 (2024特別号)*: S565, 2024.
2. 清水日智, 川原紘子, 大橋愛子, 寺田和憲, 岩永竜一郎, 熊崎博一: 自閉スペクトラム症児の感覚特性と睡眠に関する全国調査 感覚特性に基づく介入の重要性. *精神神経学雑誌 (2024特別号)*: S402, 2024.
3. 今村 明, 山本直毅, 疋田 琳, 徳永瑛子, 岩永竜一郎, 熊崎博一: こどもの自殺をめぐるネット環境と自殺. *精神神経学雑誌 (2024特別号)*: S304, 2024.
4. 谷保康一, 熊崎博一: 【感覚をめぐる子どもの困りごと】自閉スペクトラム症(ASD)と感覚 ASD児の嗅覚と困りごと. *こころの科学 (235)*: 37-41, 2024.
5. 加藤隆弘, 松島敏夫, 吉川雄一郎, 熊崎博一: ひきこもりの現在の状況と今後の支援のあり方を検討する ひきこもり支援にコミュニケーションロボットやアバターは有用か?. *日本社会精神医学会雑誌* 33(1): 63-69, 2024.
6. 今村弥生, 内田直樹, 大塚俊弘, 中村雅之, 熊崎博一: 地域医療と科学技術の共生. *日本社会精神医学会雑誌* 33(1): 44-52, 2024.
7. 熊崎博一, 吉川雄一郎: 【薬物療法を活かす非薬物療法の新たな展開】精神科領域におけるロボット治療開発. *臨床精神薬理* 27(1): 45-52, 2024.
8. 熊崎博一: 自閉スペクトラム症と認知症. *メディカルビューポイント* 45(1): 2024.
9. 夏山竜一, 大橋愛子, 冠地信和, 田山達之, 熊崎博一: アセナピンマレイン塩酸塩の口腔内投与により接触性皮膚炎を生じた症例の共有. *九州神経精神医学* 69(2): 84, 2024.
10. 手島由利恵, 冠地信和, 大橋愛子, 田山達之, 中野 健, 辻野 彰, 熊崎博一: 歩行障害を伴う認知症との鑑別を要した, 中等度うつ病の一例. *九州神経精神医学* 69(2): 75-76, 2024.
11. 小川実里, 冠地信和, 川田 恵, 吉川雄一郎, 酒井和紀, 内海 章, 宮下敬宏, 李晃 伸, 谷口大輔, 塚崎 稔, 石黒 浩, 熊崎博一: 統合失調症患者の社会参加支援の可能性が広がるアバターシステムの開発についての予備的研究. *日本社会精神医学会プログラム・抄録集* 42nd: 2024.
12. 冠地信和, 川田 恵, 吉川雄一郎, 馬場 惇, 宮下敬宏, 石黒 浩, 麻生有二, 熊崎博一: 離島で実施した, 遠隔操作型ロボットによる精神科診療支援の2症例. *日本社会精神医学会プログラム・抄録集* 42nd: 2024.
13. 福井峻太, 湯口彰重, 松本吉央, 熊崎博一, 岡留有哉: ASD者向けの文脈の考慮も可能な自律型雑談対話アンドロイドロボットシステム. *日本ロボット学会学術講演会予稿集(CD-ROM)* 42nd: 2024.
14. 中村康司, 冠地信和, 大橋愛子, 田山達之, 大塚寛朗, 来留島章太, 熊崎博一: 統合失調症との鑑別に難渋したSLEの一例. *日本精神神経学会総会プログラム・抄録集* 120th: 2024.

15. 夏山竜一,大橋愛子,田山達之,冠地信和,熊崎博一：不眠,幻視等を呈した女兒に対して,精神科リエゾン介入により可逆性後頭葉白質脳症の発見に寄与した症例. 日本精神神経学会総会プログラム・抄録集 120th: 2024.
16. 手島由利恵,冠地信和,中村康司,大橋愛子,田山達之,吉村俊祐,熊崎博一：多彩な精神症状を呈した抗NMDA受容体抗体陽性の抗MOG抗体関連疾患の皮質性脳炎. 日本精神神経学会総会プログラム・抄録集 120th: 2024.
17. 冠地信和,川田 恵,吉川雄一郎,馬場 惇,宮下敬宏,石黒 浩,麻生有二,熊崎博一：遠隔操作型ロボットを用いた離島診療支援の予備的研究. 日本精神神経学会総会プログラム・抄録集 120th: 2024.
18. 小川実里,冠地信和,川田 恵,吉川雄一郎,酒井和紀,内海 章,宮下敬宏,李晃 伸,谷口大輔,塚崎 稔,石黒 浩,熊崎博一：初対面の場における発達障害者の対人スキル向上のためのアバター活用社会参加支援の実践. 日本精神神経学会総会プログラム・抄録集 120th: 2024.
19. 高尾彰哉,冠地信和,岩永 健,田山達之,熊崎博一：短期的かつ集中的な入院による依存症治療が奏効した1例. 九州精神神経学会・九州精神医療学会プログラム・抄録集 76th-69th: 2024.
20. 城田理恵,大橋愛子,田山達之,冠地信和,熊崎博一：20年間うつ病と診断されていた双極性障害に対し炭酸リチウムが著効した1例. 九州精神神経学会・九州精神医療学会プログラム・抄録集 76th-69th: 2024.
21. 佐藤志帆,冠地信和,越智恵子,井上昂治,河原達也,谷口大輔,塚崎 稔,吉川雄一郎,熊崎博一：精神科デイケアでのヒューマノイドロボットを介した対話プログラムの実践報告. 日本社会精神医学会プログラム・抄録集 42nd: 2024.
22. 大石佳奈,冠地信和,川田 恵,吉川雄一郎,酒井和紀,谷口大輔,塚崎 稔,石黒 浩,熊崎博一：アルコール依存患者へのCGロボット(CGCommU)を用いたオンライン対話の有用性についての研究. 日本社会精神医学会プログラム・抄録集 42nd: 2024.
23. 熊崎博一：「ロボットだからこそ可能な発達障害者支援」. 日本作業療法研究学会雑誌 27(1): 2024.
24. 岩永 健,早川航一,熊崎博一：リチウム中毒後に構音障害が残存したSILENTを発症し,リハビリにより改善を認めた一例. 総合病院精神医学 36(Supplement): 2024.
25. 木下裕久,松尾昂尚,亀山明正,川口 哲,柴田和英,黒滝直弘,本田純久,小澤寛樹,熊崎博一,中道聖子：雲仙普賢岳噴火災害ストレス長期経過と老年期の感情障害,認知症との関連についての診療録調査. 日本精神科診断学会プログラム・抄録集 43rd: 2024.
26. 熊崎博一：自閉スペクトラム症者のprosodyに着目する理由. 日本精神神経学会総会プログラム・抄録集 120th: 2024.
27. 大橋愛子,田山達之,熊崎博一：重症遷延性神経性やせ症で治療に難渋した2症例. 日本精神神経学会総会プログラム・抄録集 120th: 2024.
28. 熊崎博一：デジタル技術を用いたうつ病患者支援. 日本精神神経学会総会プログラム・抄録集 120th: 2024.
29. 加藤隆弘,松島敏夫,松尾敬太郎,吉川雄一郎,熊崎博一：ロボット面接導入により転移・逆転移から解放される未来の精神医療. 日本精神神経学会総会プログラム・抄録集 120th: 2024.
30. 熊崎博一：長崎県での遠隔操作ロボットを用いた精神科患者支援. 日本精神神経学会総会プログラム・抄録集 120th: 2024.

B-c

1. 本田秀夫：神経発達症群. 中山書店：2024.
2. 金生由紀子：発達障害Q&A：臨床の疑問に答える104問. 医学書院：2024.
3. 尾崎紀夫,三村 將,水野雅文,村井俊哉,明智龍男：標準精神医学. 医学書院：2024.
4. 本田秀夫：神経発達症群. 中山書店：2024.
5. 岩永竜一郎,辻井正次：不器用・運動が苦手な子の理解と支援のガイドブック：DCD(発達性協調運動症)入門. 金子書房：2024.
6. 内山登紀夫：こころの科学2024年5月号 通巻 235号 【特集】感覚をめぐる子どもの困りごと. 日本評論社：2024.

論文研究業績集計表

論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	A-e	合計	SCI	B-a	B-b	B-c	B-d	B-e	合計	総計
2024	8	0	0	0	0	8	0	0	49	6	0	0	55	63

学会発表数一覧

	A-a	A-b シンポジウム	A-b 学会	合計	B-a	B-b シンポジウム	B-b 学会	合計	総計
2024	1	1	9	11	7	9	36	52	63

論文総数に係る教員生産係数一覧

	欧文論文総数 論文総数	教員生産係数 (欧文論文)	SCI 掲載論文数 欧文論文総数	教員生産係数 (SCI 掲載論文)
2024	0.127	1.143	0.000	0.000